

<人と人とのふれあいの大切さを知る！>

活動の名称 「こころのふれあい通学合宿」 in 当別

団体等の名称 「こころのふれあい通学合宿」 in 当別 実行委員会

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
- 児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
- 病院・保健所 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会） 行政（保健・福祉部局） 行政（その他の部局）
- その他（当別町ジュニアリーダーサークル「EZO Jr」）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

家族と離れ地域のコミュニティーセンターで共同生活をしながら通学することにより、自主性や社会性を高め、規則正しい生活習慣の確立を図る。

◆ 主な活動内容

- 町内の小学校 5, 6 年生を対象に年 2 回の通学合宿を実施している。第 1 部は 5 泊 6 日の日程で実施し、第 2 部は 2 泊 3 日の日程で、第 1 部のフォローアップ事業として実施している。
- 早朝 6 時に起床し、ラジオ体操の代わりに当別町の無形文化財である当別音頭を全員で踊り、規則正しい生活を意識させている。
- 自分達で朝ごはんを作りみんなで食べることで、仲間意識や協調性を身につけながら健康的な生活を送っている。
- 町内の中高生のジュニアリーダーサークルが子供たちの生活や学習時間のサポートを行っている。

◆ 活動の成果と今後の展望

- 子供たちは 1 日のスケジュールを守り、規則正しい生活を送ることで、合宿後の家庭生活においても実践し、起床・就寝時間の定着や家庭学習の習慣化が見られる。
- 食事作りや掃除、洗濯などを仲間と協力しながら自分達で行うことで、家庭で家事手伝いを積極的に行うようになり、自主性が高まっている。
- もらい湯をはじめ、合宿中の生活をサポートしてくれた地域の支援者にとっても、子供たちへの理解が深まり、「地域の子供は地域で育てる」機運が醸成され、地域の教育力の向上につながっている。今後は、地域全体で実践していくことを目指し、地域住民やPTAへの理解を求めながら、支援者の輪を広げていきたい。

